

公益社団法人 五所川原青年会議所 2018年度

委員会事業方針・事業計画

総務委員会

担当副理事長 島村 豊次

基本方針

五所川原青年会議所がこの地に創立し54年の月日が経ち、諸先輩方から脈々と受け継がれてきた「明るい豊かな社会」実現を目的とした青年会議所運動を行って参りました。創立から時代の移り変わりを経て、2012年に公益社団法人格に移行し7年目を迎えた本年、高い公益性の維持・継続をしていくと共に、責任ある青年世代として地域発展や社会貢献の為、公益社団法人としての責務を果たさなければなりません。

その為には、公益法人制度を基に執行部との連携を取り合いながら、五所川原青年会議所の定款に沿った総会の企画運営並びに各種定例会を円滑に執り行う事で、確実な組織体制を構築して参ります。また、総務委員会としての責務である対外・対内へ向けた情報公開並びに運動発信を迅速に行い、我々の活動を広く地域の方へ浸透させる事で、五所川原青年会議所運動が継続して行えるような環境に繋げて参ります。

総務委員会では、当会が執り行う積極的な運動展開を支え、五所川原青年会議所運動を地域の方に周知し、信頼を得る為に確実な情報公開を行う事で「明るい豊かな社会」の実現に繋がっていくと確信し、一年間邁進して参ります。

委員長 平山 稔洋

基本方針

五所川原青年会議所は地域社会の健全な発展と次代のひとつづくりによる「明るい豊かな社会」の実現を目的として創立され、諸先輩方から日々の五所川原青年会議所運動に邁進できる環境を作っていただきました。また、2012年に公益社団法人に移行し、青少年の健全な育成・地域社会の健全な発展等、高い公益性の維持と継続をしていく必要があり、確実な組織運営と公益社団法人としての責務を果たす必要があります。

そこで総務委員会では、公益法人制度を基に執行部との連携を図りながら、確実な組織体制を構築していき、新年祝賀会・総会・選考委員会委員選挙・各委員会が担当する定例会を円滑に執り行います。また、会員名簿・基本資料の作成、各委員会の情報を対外・対内へ向けてホームページやフェイスブックに掲載し、我々の運動を多くの市民へ広く知っていただきながら、当会各委員会の活動が積極的に行える環境を整えて参ります。

最後に、地域からの信頼を得る為に確実な組織運営を行い、当会の各委員会の運動を地域へ情報公開することにより、五所川原青年会議所が目指す「明るい豊かな社会」の実現に繋がることを確信し懸命に努めて参ります。

事業計画並びに事業予算

総会・例会の運営

◎新年祝賀会（1月）他1

新体制でのご挨拶、当会の2018年度の活動内容と方針を来賓の方々に向けて発表し、理解を深めていただくことを目的とした事業。

・通信運搬費	43,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	13,000円	・賃借料	30,000円
・委託費	89,000円		

予算 177,000円

◎通常総会（2月）管理費に計上

当会の2017年度の事業報告及び、収支決算報告承認を行うことを目的とした総会。

・通信運搬費	7,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	3,000円	・賃借料	30,000円
・委託費	3,000円		

予算 48,000円

◎定例会（7月）他2

役員選考委員会委員選挙

当会の2018年度の役員選考委員会委員を選出することを目的とした定例会。

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	3,000円
・印刷製本費	3,000円	・賃借料	4,000円
・委託費	3,000円		

予算 18,000円

◎通常総会（9月）管理費に計上

当会の2019年度の役員候補者及び組織図案の承認を行うことを目的とした総会。

・通信運搬費	8,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	4,000円	・賃借料	30,000円
・委託費	3,000円		

予算 47,000円

◎定例会（12月）他2

当会の2019年度の基本方針（案）及び収支予算について報告を行い、2019年度への引継ぎを目的とした例会。

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	13,000円	・賃借料	30,000円
・委託費	3,000円		

予 算 53,000円

その他の事業 他1

◎褒賞の企画

2018年度の青年会議所運動に貢献・功労したメンバー及び委員会への褒賞の企画を目的とした事業（LOM内褒賞）

・雑費	72,000円
-----	---------

予 算 72,000円

◎基本資料の作成（管理費に計上）

当会の方向性と財務状況を対内外へ向け情報公開を行うことを目的とした基本資料の作成。

・消耗品費	1,000円	・印刷製本費	1,000円
・委託費	227,000円		

予 算 229,000円

◎会員名簿の作成（管理費に計上）

当会のメンバーの情報を関係諸団体へお伝えする為の名簿作成。

・通信運搬費	1,000円	・消耗品費	500円
・印刷製本費	500円	・委託費	42,000円

予 算 44,000円

◎WEBサイトの企画・運営・更新 他3

地域の方々に当会の認知と理解を深めていただくための情報公開を目的としたWEBサイトとの企画・運営・更新

・委託費 32,000円

予算 32,000円

事業費合計 720,000円

公益社団法人 五所川原青年会議所 2018年度

委員会事業方針・事業計画

青少年育成委員会

担当副理事長 田中 宏明

基本方針

社会の大きな構造変化の渦中にある現在、それは、子どもの成長に影響を及ぼしております。例えば、急速な情報化社会によるコミュニケーション能力の低下、核家族化や共働きに起因した愛情不足による自尊感情の低下、価値観の多様化による心理的孤独等が挙げられます。このような社会だからこそ、我々は責任を持って、地域の宝である無限の可能性を秘めた子ども達が心身共に健やかに、そして、自身で未来を切り拓ける大人に成長するよう導かなければなりません。

その為に当委員会は、青少年の社会性を育む事、そして、主体的に考え能動的にコミュニケーションできる青少年の育成を目的に、様々な体験と学びの場であり、自身と向き合い他者と心を通わせる機会として、昨年に引き続き、徒歩修行「じょっぱりロード～OMO I Y A R Iへの旅～」を開催致します。また、今年度も関係諸団体と連携して「わんぱく相撲大会」を開催し、相撲の持つ礼節と心身の鍛錬をもって、逞しく活力ある青少年の育成に繋がります。

事業を通じて経験する友情、困難、挫折、感謝、感動、そして日本固有の思いやりの精神は、青少年を心豊かに成長させ、自身と地域の未来を切り拓き「明るい豊かな社会」の創造に繋げるものと確信し、一年間精進して参ります。

委員長 柳澤 辰男

基本方針

今を生きる子ども達は、インターネットやスマートフォンなどの普及により、急速な情報社会の真只中にあります。それに伴い、家族や知人等とのコミュニケーション能力の低下や、価値観の多様化による心理的孤独等の影響を及ぼしております。このような時代だからこそ、責任ある私たち大人が、無限の可能性を秘めた子ども達の郷土を愛する心を育み、未来を切り拓き、創造力豊かな次代を担う大人へなれるよう導かなければなりません。

その為に当委員会は、無限の可能性を秘めた未来へ繋がる確かな一歩、そして「OMO I Y A R I」の精神を伝えるべく、昨年に引き続き、徒歩修行「じょっぱりロード～OMO I Y A R Iへの旅～」を開催致します。また、相撲大国である津軽地域の子ども達が、日頃の心身の鍛錬の成果を発揮できる場であり、人を思いやる気持ちや感謝の心を育む事を目的として、関係諸団体に協力を仰ぎながら「わんぱく相撲大会」を開催致します。

事業を通じて培った経験は、次代を担う子ども達を心豊かに「GROW UP」させ、必ずや今後の人生を照らす光となります。延いては「明るい豊かな社会」の創造に繋がるものと確信し、一年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※ 例会の主管

◎ 公開定例会 (5月) 公1

わんぱく相撲津軽地区大会 (仮称)

子ども達が日頃の心身の鍛錬の成果を発揮し、人を思いやる気持ちや感謝の心を育む事を目的として、相撲大国津軽地域より全国大会出場権を目指す大会を、定例会として運営及び設営する。

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	5,000円	・保険料	20,000円
・委託費	168,000円	・雑費	2,000円
		予 算	202,000円

◎ 公開定例会 (8月) 公1

「じょっぱりロード2018～OMOIYARIへの旅～」(仮称)

「徒歩修行」を通じ、「OMOIYARI」の精神を育む公開定例会。

・旅費交通費	300,000円	・通信運搬費	5,000円
・消耗品費	100,000円	・印刷製本費	15,000円
・燃料費	12,000円	・賃借料	30,000円
・保険料	189,000円	・諸謝金	30,000円
・衛生費	60,000円	・委託費	450,000円
・雑費	75,000円		
		予 算	1,266,000円

※ その他の事業

◎ 「じょっぱりロード2018～OMOIYARIへの旅～」(仮称) ボランティア研修会・参加者説明会 (4月) 公1

「じょっぱりロード」の開催の事前に、参加小学生をサポートするボランティアの研修と、参加小学生とその保護者に向けて説明を行い、事業の円滑な実施を図るとともに、事業への意識向上を促す。

・旅費交通費	60,000円	・通信運搬費	15,000円
・消耗品費	5,000円	・印刷製本費	10,500円
・賃借料	22,000円	・保険料	20,000円
・委託費	90,000円	・雑費	500円
		予 算	223,000円

◎ わんぱく相撲全国大会 (7月) 公1

相撲大国津軽地域より全国大会出場する子ども達の引率。

・旅費交通費	120,000円	・通信運搬費	3,000円
・消耗品費	1,000円	・印刷製本費	1,000円

・支払負担費	10,000円	・雑費	40,000円
		予算	175,000円

◎ 「じよっぱりロード2018～OMOIYARIへの旅～」事業報告会（仮称）（10月）公1
「徒歩修行」を通じ、「OMOIYARI」の精神を育めたかを検証する事業報告会。

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	3,000円	・賃借料	6,000円
・委託費	67,000円		
		予算	83,000円

事業費合計	1,949,000円
-------	------------

公益社団法人 五所川原青年会議所

2018年度 委員会事業方針・事業計画

まつり委員会

担当副理事長 佐々木 邦和

基本方針

「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穰」「悪疫退散」の祈りを込めて毎年開催させて頂いている「奥津軽虫と火まつり」は、地域の皆様と先輩諸兄のご支援ご協力により本年度で46回目を迎えます。古くから地域の皆様に愛されているこのまつりも時代の移り変わりと共に、参加団体の減少、後継者不足等様々な問題を抱えております。これまで紡いできた伝統の燈火を絶やさぬ様、関係諸団体と連携を密に図ると共にまつりのすそ野を広げ、持続可能なまつりの構築と運動の展開をする必要があります。

すそ野の拡大に向けて地域の学校の協力を仰ぎながらこの地に住み暮らす学生、子ども達に「奥津軽虫と火まつり」の意義を伝承すると共に周知を行い、このまつりに参画できる環境を整備して参ります。また、持続可能なまつりの構築に向け、会員一人ひとりのまつりに対する意識の高揚と意義の再確認を図ると共に、「奥津軽虫と火まつり実行委員会」を組織し、関係諸団体と連携の下、昨年度開催された「まつりを考える事業」の討議結果をまつりの運営に反映して参ります。

まつりのすそ野の拡大と持続可能なまつりの構築は、地域に脈々と受け継がれてきた伝統の燈火を絶やすことなく、次なる半世紀へ向けた「奥津軽虫と火まつり」の開催とまつりの継承、発展に繋がり、延いては地域性溢れる「明るい豊かな社会」の創造となるものと確信し一年間邁進して参ります。

委員長 對馬 幸征

基本方針

私達が住み暮らす愛すべき故郷、奥津軽。ここ奥津軽で毎年開催されている「奥津軽虫と火まつり」は「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穰」「悪疫退散」の祈りを込めて本年度で46回目を迎えます。地域の皆様のご支援ご協力賜わり、愛されてきたこのまつりも時代の変化や四囲の情勢により、一般参加者や参加団体の減少などの問題が懸念されています。先人達から伝承を続け伝統の燈火をこれから先も絶やすことなく、50周年を見据えたまつりへ向けて、更なる発展と振興を行う必要があります。

この奥津軽の次世代を担う青少年や子ども達へ「奥津軽虫と火まつり親善大使事業」を開催し、まつりの目的と意義を伝承し、伝統文化の周知に努めるとともに、この事業へ参加した方々がまつりへ参加できる環境を作ることですそ野を拡大して参ります。そして、「会員がまつりの意義を学ぶ例会」を開催して、会員一人ひとりが目的や意義の再認をしていただき、去年開催された「まつりを考える事業」の事業結果を運営に反映しながら持続可能なまつりを構築して参ります。

地域の幸せとそこに住み暮らす人々の幸せを願うこのまつりを持続可能に構築することで、伝統の燈火を次世代に繋げ、50周年を見据えたまつりへ昇華致します。そしてこの運動は、地域性溢れる「明るい豊かな社会」延いてはこの地域の「弥栄」に繋がるものと確信し一年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※ 例会の主管

◎ 定例会 (4月) 他2

「会員がまつりの意義を学ぶ定例会」(仮称)

会員一人ひとりがまつりに対する主体性を持った意識の向上を図り、目的や意義を再認していただく定例会。

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	10,000円
・印刷製本費	30,000円	・賃借料	10,000円
・諸謝金	5,000円	・委託費	10,000円
・雑費	20,000円		

予 算 95,000円

◎ 公開定例会 (6月) 公2

「奥津軽虫と火まつり」

公益社団法人五所川原青年会議所が主催し、地域の人々や参加者と共に「天下泰平・国家安泰・五穀豊穰・悪疫退散」の祈りを込め地域の幸せを願う定例会。

・旅費交通費	1,000円	・通信運搬費	70,000円
・消耗什器備品費	70,000円	・消耗品費	1,050,000円
・修繕費	20,000円	・印刷製本費	50,000円
・燃料費	3,000円	・賃借料	200,000円
・保険料	220,000円	・諸謝金	200,000円
・租税公課	12,000円	・支払負担金	20,000円
・委託費	1,900,000円	・衛生費	160,000円
・雑費	160,000円		

予 算 4,136,000円

※ その他の事業

◎ 奥津軽虫と火まつりの伝承(仮称)(3月~6月(案)) 公2

「奥津軽虫と火まつり親善大使」が活躍する事業。

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	10,000円
・印刷製本費	10,000円	・保険料	10,000円
・委託費	30,000円	・雑費	30,000円

予 算 100,000円

事業費合計 4,331,000円

公益社団法人 五所川原青年会議所 2018年度

委員会事業方針・事業計画

まちづくり委員会

担当副理事長 對馬 央也

基本方針

我々が住み暮らす五所川原は、厳しい冬を乗り越え、短い夏を駆け抜け、移り行く季節が彩る自然や文化・産業が共生する魅力的な地域です。しかし、近年では「ひと」の減少により文化・産業が衰微し、それが「まち」の衰退へと結びつく問題に直面しております。我々はそれらの問題に立ち向かう為、これまで多岐にわたるまちづくり運動を展開してきた諸先輩方の精神を継承すると共に、この地域に住み暮らす人々と手を取り合い、更なる地域の活性に繋げて行かなければなりません。

その為には、「市民」「行政」「当会」が三位一体となり取り組む「五所川原市民討議会」を開催することで、市民がまちづくりに携われる機会を創出し、市民一人ひとりの前向きな社会参画意識の醸成を図ります。また、地域の持つ特色や課題を抽出し、五所川原のまち固有の魅力を磨くべく、地域市民・地域団体と手を取り合い、更なる協働の和へと繋がる機会を創出します。この協働の和が途切れることの無い循環の輪となることで、継続的なまちづくり運動による地域の活性を目指して参ります。

協働が織り成すひとづくり・まちづくり。市民一人ひとりが地域を照らす未来の希望となり、前向きな社会参画意識によるまちづくり運動を展開することで、「明るい豊かな社会」の実現に繋がるものと確信し、一年間職責を果たせるよう邁進して参ります。

委員長 小野 顕成

基本方針

青森県西部に広がる津軽平野は、自然の厳しさや四季の移ろいを感じられる豊かな大地です。その大地に抱かれる五所川原は地域に根付いた文化や産業があり、そこに住む「ひと」からは温かさが感じられる魅力ある「まち」です。しかし、近年の「ひと」の減少により「まち」の活気が失われ、地域のもつ文化や産業の素晴らしさが影を潜めております。我々はこの問題を解決すべく、地域に住み暮らす「ひと」と共に積極的なまちづくり運動による地域の活性に取り組まなければなりません。

その為には、市民一人ひとりが前向きな社会参画意識を抱いていただけるよう、市民が意見を交わし合い、その結果を市政に報告することのできる「五所川原市民討議会」を今年度も開催します。また、津軽地域の発展に貢献する企業・団体と手を取り合い、五所川原の文化・産業の持つ「いろどり」を市民に発信する定例会を開催し、企業・団体による継続的なまちづくり運動への参画意識を醸成することで、多年にわたる協働の和へと繋げ、地域の発展を目指して参ります。

この地域に住み暮らす「ひと」そして地域に貢献する「企業・団体」と共に、前向きな社会参画意識による積極的なまちづくり運動を展開することで、「明るい豊かな社会」の実現に繋がるものと確信し、一年間職責を果たせるよう邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※ 例会の主管

◎ 公開定例会 文化・産業の持つ「いろどり」を発信する定例会（10月）公3

津軽地域の発展に貢献する企業・団体と手を取り合い、五所川原の文化・産業の魅力を発信し、地域の活性並びに企業・団体による継続的なまちづくり運動への参画意識を醸成する定例会

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	10,000円
・印刷製本費	20,000円	・賃借料	20,000円
・保険料	20,000円	・委託費	200,000円
・雑費	5,000円		

予 算	285,000円
-----	----------

※ その他の事業

◎ 10月定例会周知事業（7月）公3

地域に根差した文化・産業のモニュメント製作を通じ、市民一人ひとりのまちづくりへの参画意識の醸成を促すと共に、10月定例会の周知を図る事業

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	10,000円
・印刷製本費	20,000円	・保険料	20,000円
・委託費	280,000円	・雑費	3,000円

予 算	338,000円
-----	----------

◎ 2018年度五所川原市民討議会（7月）公3

市民一人ひとりの前向きな社会参画意識の醸成を目的とした市民参加型討議会

・支払寄付金	300,000円
--------	----------

予 算	300,000円
-----	----------

事業費合計	923,000円
-------	----------

公益社団法人 五所川原青年会議所 2018年度

委員会事業方針・事業計画

会員拡大・交流委員会

担当副理事長 平田 浩介

基本方針

近年、若者の地元離れや県外流出などにより、地域の人口減少が問題となっています。それに伴い、五所川原青年会議所の会員数もこれからは減少していく可能性があり、会員減少は、当会の運動や会員のモチベーションの低下に繋がっていくものと危惧しています。我々の運動が強く地域に伝播し、実を結んでいく為にも、会員一人ひとりがスキルアップをし、当会の魅力発信へと繋げ、会員拡大を行っていく必要があります。

その為に、当委員会が中心となり、会員拡大に関する情報収集と情報発信に努め、会全体で会員拡大を取組める体制を構築して参ります。さらに、幅広い世代との各種交流会を行い、友情・絆を深め、組織の結束力に繋げて参ります。また、会全体の資質向上を図るためのセミナー等を行い、会員一人ひとりの目的意識の向上とスキルアップに繋がる多面的な学びの場を設けて、当会の魅力発信と更なる発展に繋げ、地域の未来に繋がる人材の育成に努めて参ります。

会員一人ひとりが、交流会や多面的な学びを経て、目的意識の向上と個人のスキルアップをすることで、地域から必要とされる人材に成長し、そのことが、当会の魅力となり会員拡大へと繋がって行くものと信じ、我々が目指す「明るい豊かな社会」の実現に向けて一年間邁進して参ります。

委員長 葛西 良樹

基本方針

近年、私たちの地域においては、若者の地元離れや県外流出による人口減少が続いています。その中には20歳から40歳の今後の地域を担っていく青年も少なくありません。人口減少に伴い、会員数の減少は「明るい豊かな社会」を作っていく為には大きな問題となります。地域をより良く発展させていく為にも、会員拡大に最大の重点をおき、拡大を進めていかなければいけません。また、同時に会員相互の協調性と会員個人のスキルアップを当会全員で取り組んでいかなければならないと考えます。

その為に、私たちメンバーが今あるJ C活動を語り、会議所の必要性、魅力を発信していく場として、先輩諸兄のお力をお借りしながら、会全体で会員相互、入会対象者の交流会を行い、拡大に力を注いでいきます。また、新入会員並びにメンバー全員が個人のスキルアップ、資質向上、目的意識の向上を目指すセミナーを開催し、会員個人、当会全体で、更なる発展と地域の未来に繋がる人材の育成に努め「GROW UP」していきます。

会員一人一人の資質向上が今後地域を担う人材育成となります。また、会議所の魅力を発信し、拡大運動をすることが会員拡大へつながり、当会の発展へ繋がります。更には、地域発展に繋がり「明るい豊かな社会」へ続くと信じ、一年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※ 例会の主管

◎ 公開定例会 (3月) 他2

先輩諸兄並びに入会対象者、会員が親睦を深め会員拡大に繋げるスポーツ定例会

・通信運搬費	14,000円	・消耗品費	25,000円
・印刷製本費	18,000円	・賃借料	5,000円
・委託費	20,000円	・保険料	9,100円
・雑費	30,000円		

予 算 121,100円

◎ 定例会 (11月) 他2

会員の資質向上を目的とした定例会

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	3,000円
・印刷製本費	3,000円	・賃借料	6,000円
・諸謝金	30,000円	・委託費	3,000円
・雑費	10,000円		

予 算 60,000円

※ その他の事業

◎ 新入会員セミナー (未定) 他2

青年会議所会員としての「基礎」を学ぶセミナー

・通信運搬費	5,000円	・印刷製本費	5,000円
・賃借料	5,000円		

予 算 15,000円

◎ 会員拡大事業 (通年) 他2

新入会員交流・拡大を目的とする事業 (未定)

・通信運搬費	20,000円	・印刷製本費	15,000円
・委託費	15,000円		

予 算 50,000円

事業費合計 246,100円

公益社団法人五所川原青年会議所2018年度年間事業スケジュール(事業)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
日本青年会議所	京都会議 京都18日(木)～21日(日) 総会 京都20日(土)	金沢会議 金沢16日(金)～18日(日)	総会 東京24日(土)		ASPAC 鹿児島24日(木)～27日(日)	
東北地区協議会	正副会議 仙台 8日(月・祝) 正副拡大会議 仙台26日(金) 役員会議 泉15日(月) 会員会議所会議 京都20日(土)	正副拡大会議 仙台19日(金) 役員会議 仙台9日(金) セミナー開校式 仙台10日(土)	正副拡大会議 福島15日(木) 役員会議 三沢2日(土) セミナー 第1講座 福島 17日(土)～18日(日)	正副拡大会議 陸中宮古17日(火) 役員会議 水沢6日(金) セミナー 第2講座 青森 29日(土)～30日(日)	正副拡大会議 能代17日(火) 役員会議 いわき7日(月)	正副拡大会議 東根13日(水) 役員会議 八戸1日(金) セミナー 第3講座 山形 2日(土)～3日(日)
青森ブロック協議会	役員会議 青森10日(水) 会員会議所会議 八戸27日(土) 7カデミー大学開校式 八戸27日(土) 新春名刺交歓会 八戸27日(土)	役員会議 青森7日(水) 会員会議所会議 三沢24日(土) 7カデミー大学 第一講座 青森17日(土)	役員会議 青森7日(水)・28日(水) 会員会議所会議 青森17日(土) 7カデミー大学 第二講座 黒石24日(土)	役員会議 青森24日(水) 会員会議所会議 弘前15日(土) 7カデミー大学 第二講座 弘前28日(土)	役員会議 青森23日(水) 会員会議所会議 五所川原12日(土) 7カデミー大学 第四講座 十和田19日(土)	役員会議 青森20日(水) 会員会議所会議 黒石9日(土)・八戸30日(土) 7カデミー大学 閉講式・アワード 八戸 30日(土)～31日(日) ブロック大会 八戸30日(土)～1日(日)
五所川原青年会議所	新年祝賀会	通常総会	定例会	公開定例会	公開定例会	奥津軽虫と火まつり
理事会	9日(火)	5日(月)	5日(月)	5日(木)	7日(月)	5日(火)
総務委員会	新年祝賀会	通常総会				
青少年委員会					わんぱく相撲津軽地区大会	
まつり委員会				定例会主管		奥津軽虫と火まつり
まちづくり委員会						
会員拡大・交流委員会	会員拡大事業(通年)		定例会主管			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日本青年会議所	サマーコンファレンス 横浜21日(土)～22日(日)			全国大会 宮崎4日(木)～7日(日) 総会 宮崎5日(土)	JCI世界会議 【インド】10月30日(火)～11月3日(土)	
東北地区協議会	正副会議 弘前17日(火) 役員会議 鶴岡5日(木) セミナー 第4講座 秋田 14日(土)～15日(日)	正副会議 一関14日(火) 役員会議 三沢31日(金) セミナー 第5講座 青森 18日(土)～19日(日)	正副会議 山形20日(木) セミナー開校式 三沢1日(土)～2日(日) 東北青年フォーラム 三沢1日(土)～2日(日)	正副会議 秋田23日(火) 役員会議 横手12日(金)	正副会議 五所川原19日(月) 役員会議 塩釜9日(金) 役員会議 泉29日(木) 会員会議所会議 泉30日(金)	
青森ブロック協議会			役員会議 青森5日(水) 会員会議所会議 むつ29日(土)	役員会議 青森3日(水) 会員会議所会議 十和田27日(土)	役員会議 青森7日(水) 会員会議所会議 未定25日(土)	
五所川原青年会議所	選考委員会選挙	公開定例会	通常総会	公開定例会	公開定例会	定例会
理事会	5日(木)	6日(月)	5日(水)	5日(金)	5日(月)	5日(水)
総務委員会	選考委員会選挙		通常総会			定例会主管
青少年委員会	わんぱく相撲全国大会	じよっぱりロード2018				
まつり委員会						
まちづくり委員会	五所川原市民討議会・10月定例会周知事業			定例会主管		
会員拡大・交流委員会					会員の資質向上に繋がる定例会	家族交流会